

資料2

| | |
|------------------|--|
| 評価項目 | 2 組織体制に関すること |
| 当センターの状況 (概要) | <p>(1) 業務全般に対するマネジメントの実施状況</p> <p>当センターでは、外部の専門家及び有識者で構成する機関評価委員会及び研究評価委員会を組織し、①センターの機能強化、効率的な業務運営の推進、②試験研究の効果的・効率的な推進、③県民の理解の確保の観点から助言、指導を得ている。</p> <p>研究課題、研究計画に係る庁内調整等について、環境生活部、保健福祉部関係各課で構成する企画調整会議を実施し、業務推進及び研究実施において連携を図ってきた。</p> <p>所内においては、研究のほかにも機器調達時の機器選定、広報業務、職員の健康管理に関する委員会等を実施するなどして、所内業務のマネジメントを進めている。</p> |
| 評価結果/評価の視点 | <p>○総合評価 A 適当(5人)・B 要改善(1人)・C 不適當(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 業務全般に対するマネジメントの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題ないと考えられる。 ・人事異動に伴う研究の中断が複数みられ、改善を要する。 ・妥当である。 ・適切なマネジメントが実施されていると評価する。 |
| センターの対応方針 | <p>業務全般に対するマネジメントについては、今後とも外部評価委員会、環境保健研究等調整検討会議(平成26年度から)、所内各委員会等の現在の組織を有効に活用し、効果的に実施していきます。</p> <p>なお、研究の中断に係る再発防止については、1つの研究課題に対し、複数体制で取り組むとともに、研究方針等を協議する環境保健研究等調整検討会議の結果を主管課の人事担当にも情報提供し、中長期的に研究課題に取り組める環境を整えていきます。</p> |